街頭宣伝例（森友疑惑）　　　　　　　　　　　　２０１８年３月１２日　鳥取県委員会

　ご町内のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして訴えをさせていただきます。どうぞご協力よろしくお願いします。

　みなさん、森友問題で、財務省が文書の改ざんがあったことを、とうとうみとめました。ことはきわめて重大です。たんなる情報のミス、文書のミスではありません。決裁文書が、決済したあとで、改ざんされていたということであり、こんなことがまかり通ったら、国会の論議はなりたたなくなります。

文書を改ざんし、野党をあざむき、国会をあざむいた、国会をあざむいたということは国民をあざむいたということにほかなりません。絶対に許せません。

そして、国会のもっとも大事な機能である国政調査権をじゅうりんし破壊する、歴史上まれにみる暴挙だといわなければなりません。なぜ、こんなことをしたのか。徹底究明が必要です。佐川国税庁長官がやめて済む話ではありません。

佐川氏の国会証人喚問を。森友問題の徹底究明を。この声をごいっしょにあげていこうではありませんか。

問われているのは、首相夫妻がかかわったかどうかです。改ざんされたという文書、削除されたといわれる文書は、安倍首相と、安倍首相の夫人がこの問題にかかわっていたとにおわせる部分が削除されていたということです。これほどひどい改ざんはありません。日本共産党は、野党６党で団結して、この問題の徹底究明にがんばります。どうぞよろしくお願いします。

この間、安倍政権のもとで、情報の隠ぺいがつぎつぎおこなわれてきました。南スーダンのPKOの日報もそうでした。戦闘があったことを隠していました。裁量労働制のデータも、いいかげんなデータをだして、一般の労働より短いなどと国民をあざむいてきました。

みなさん、こんなでたらめをゆるさず、あたりまえの政治を取り戻そうではありませんか。

いま、世界は大きく動いています。５月には、米朝首脳会談がひらかれることになりました。トランプ大統領は、恒久的な非核化、核兵器を朝鮮半島からとりのぞく、それを達成するために金正恩（キムジョンウン）委員長と会談するといっています。日本共産党はこの動きを心から歓迎したいと思います。世界はいま対話による核兵器廃絶の方向、核兵器禁止条約をむすび、核兵器のない世界を、そういう動きが始まっています。日本の政府は、対話を否定してきたいままでの態度をあらためて、米朝対話の成功に全力をつくすべきです。

森友問題、加計問題、真相徹底解明して、これが事実であれば、安倍内閣は、内閣総辞職をしなければならない問題です。憲法９条改憲などとんでもありません。発議をゆるさないために、日本共産党は、安倍改憲に反対で一致する野党のみなさん、市民のみなさんと力をあわせてたたかいぬく決意です。

来年は、いっせい地方選挙と参議院選挙がたたかわれます。市民と野党の共闘をもう一回成功させて、安倍政権を打倒しようではありませんか。最後に、日本共産党へのこれまで以上のご支援をお願いして、訴えとします。ありがとうございました。

以上